

令和6年度 みなさんにおすすめしたい本

高学年向け

板橋区教育会学校図書館研究部
板橋区立図書館児童担当者会

	No.	書名	作者	出版社	記号
物語	1	二平方メートルの世界で	前田 海音/文	小学館	E
	2	のら犬ボン	たじま ゆきひこ/作	くもん出版	E
	3	<u>ひと箱本屋とひみつの友だち</u>	赤羽 じゅんこ/作	さ・え・ら書房	917カ
	4	シャンシャン、夏だより	浅野 竜/作	講談社	917サ
	5	坂の上の図書館	池田 ゆみる/作	さ・え・ら書房	917ナ
	6	ぼくんちのねこのはなし	いとう みく/作	くもん出版	911ト
	7	影なし山のりん	宇佐美 敬子/作	Gakken	917ウ
	8	岬のマヨイガ	柏葉 幸子/著	講談社	91カシ
	9	サステナブル・ビーチ	小手鞠 るい/作	さ・え・ら書房	91コフ
	10	江戸の空見師 嵐太郎	佐和 みずえ/作	フレーベル館	91サウ
	11	アリババの猫がきいている	新藤 悦子/作	ポプラ社	91シン
	12	チボロ	菅野 雪虫/著	講談社	91スカ
	13	バウムクーヘンとヒロシマ	巢山 ひろみ/著	くもん出版	91スヤ
	14	夕焼け色のわすれもの	たかの けんいち/作	講談社	91カカ
	15	酒天童子	竹下 文子/著	偕成社	91カク
	16	<u>夏に、ネコをさがして</u>	西田 俊也/作	徳間書店	91ニコシ
	17	ハルと歩いた	西田 俊也/作	徳間書店	91ニコシ
	18	あぐり☆サイエンスクラブ (全3冊)	堀米 薫/作	新日本出版社	91ホリ
	19	金色の約束	松本 聡美/作	国土社	91マツ
	20	三島由宇、当選確実!	まはら 三桃/著	講談社	91マハ
	21	おれたちのトウモロコシ	矢嶋 加代子/作	文研出版	91ヤシ
	22	魔法のほね	安田 登/著	亜紀書房	91ヤキ
	23	昨日のぼくのパーツ	吉野 万理子/著	講談社	91ヨシ
	24	おいでフレック、ぼくのところに	エヴァ・イボットソン/著	偕成社	93イ
	25	希望の図書館	リサ・クライン・ランサム/作	ポプラ社	93カ

☆リストの作成にあたっては次のようなことを目安として本を選びました。

- 1 楽しく、おもしろく読め、子どもの気持ちにあった親しみやすい本
- 2 子どもの年齢に合った、読みやすく夢のある本
- 3 名作ものがたりは、できるだけリストにいれないようにしました。

読書は、人生をより深く生き抜く力を身につけます。より多くの本との出会いを重ねるよう願っています。今回も皆さんが、本を選ぶ何らかの手がかりになるようにと、区内の小学校の先生と区立図書館の児童担当者でこの一覧表（改訂版）を作成しました。また、区立図書館や学校図書館には、よい本がありますので、ぜひ読んでみてください。

	No.	書名	作者	出版社	記号
物語	26	その魔球に、まだ名はない	エレン・クレイジス/著	あすなる書房	93㍈
	27	ぼくたち負け組クラブ	アンドリュウ・クレメンツ/著	講談社	93㍈
	28	ぼくと石の兵士	リサ・トンプソン/著	PHP研究所	93㍈
	29	シロクマが家にやってきた！	マリア・ファラー/作	あかね書房	93㍈
	30	ブーさんの戦争 世界一有名なクマのお話	リンジー・マティック/文	評論社	93㍈
	31	おじいちゃんとの最後の旅	ウルフ・スタルク/作	徳間書店	94㍈
	32	ミスターオレンジ	トゥルース・マティ/作	朔北社	94㍈
	33	テオの「ありがとう」ノート	クロディーヌ・ル・グイック/ブリト/著	PHP研究所	95㍈
詩	34	わたしはひろがる	岸 武雄/作	子どもの未来社	E
	35	ぼくがゆびをばちんとならして、きみがおとなになるまえの詩集	斉藤 倫/著	福音館書店	91㍈
伝記・社会・自然科学	36	自由への道 奴隷解放に命をかけた黒人女性ハリエツ・タブマンの物語	池田 まき子/文	Gakken	28㍈
	37	あかい自転車 ビッグ・レッドのながい旅	ジュード・イザベラ/文	六耀社	E
	38	<u>すごい！ミニツメカー 生き物をロントに世界を変えた發明家たち</u>	竹内 薫/監修	西村書店	E
	39	フクシマ 2011年3月11日から変わった暮らし	内堀 タケシ/写真・文	国土社	E
	40	<u>なんてくさいんだ！ロンドンを救ったジョセフの物語</u>	コリーン・ベフ/文	あかつき教育図書	E
	41	山の上に貝がらがあるのはなぜ？はじめての地質学	アレックス・ノゲス/文	岩崎書店	E
	42	毎日新聞社 記事づくりの現場	深光 富士男/文	佼成出版社	07
	43	消えたレッサーパンダを追え！ 警視庁「生きもの係」事件簿	たけたに ちほみ/文	Gakken	31
	44	ヒロシマをのこす 平和記念資料館をつくった人・長岡省吾	佐藤 真澄/著	汐文社	31
	45	故郷の味は海をこえて	安田 菜津紀/著・写真	ポプラ社	36
	46	髪がつなぐ物語	別司 芳子/著	文研出版	36
	47	クジラのおなかからプラスチック	保坂 直紀/著	旬報社	51
	48	<u>オリヒメ 人と人をつなぐ分身ロボット</u>	吉藤 オリィ/著	子どもの未来社	54
	49	世界を救うパンの缶詰	菅 聖子/文	ほるぷ出版	58
	50	チェンジ！	越智 貴雄/著	くもん出版	78

※ 板橋区立図書館の本は「記号」で分類されています。

※ 書名にアンダーラインのある作品は、今年度選ばれた作品です。

1



「ニ平方メートルの世界で」

前田海音／文

はたこうしろう／絵

小学館

病院のベッドの大きさは、約ニ平方メートル。病気で入退院をくり返す海音が、ニ平方メートルの世界で、家族のことや自分の病気のことを、たくさん感じて、考えます。そんなある日、海音の目にとびこんできたのは…。

2



「のら犬ボン」

たじまゆきひこ／作

くもん出版

東京に転勤が決まったとうさんは、としおに「ともだちにあずけにゆく」とうそをついて、犬のボンを島にすてた。のら犬となったボンはけがをし、動物愛護センターに保護される。生き物を飼う責任を考える絵本。

3



「ひと箱本屋とひみつの友だち」

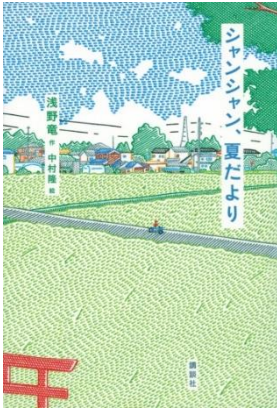
赤羽じゅんこ／作

はらぐちあつこ／絵

さ・え・ら書房

小学5年生の朱莉は、ひと箱本屋カフェ「SHIORI」で売られていた一冊の手作りの本に心を奪われる。作者は同世代の女の子・理々亜。ふたりはある日、「SHIORI」ではじめて会うことになり……。似ているけれど、ちょっと違う二人の物語。

4



「シャンシャン、夏だより」

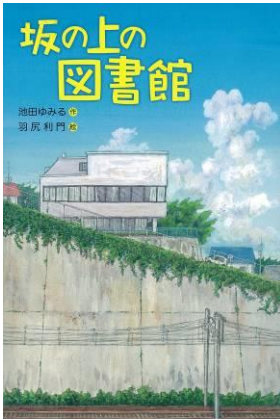
浅野竜／作

中村隆／絵

講談社

なつやす はじ 夏休みの始めにノブトは、転校生で変
わり者の川村から「この町で、いまま
でにクマゼミの声をきいたことってあ
る？」と言われる。この言葉をきっか
けに優等生のカモッチもまきこんだク
マゼミ探しをはじめます。

5



「坂の上の図書館」

池田ゆみる／作

羽尻利門／絵

さ・え・ら書房

しょうがく ねんせい はる な はは ふたり じりつ
小学5年生の春菜は母と二人で自立
支援センター「あけぼの住宅」で暮
らすことになった。すぐ隣には
図書館がある。春菜は生まれて初めて
図書館に行き、本を読むことが生活の
一部となっていく。

6



「ぼくんちのねこのはなし」

いとうみく／作

カシワイ／絵

さ・え・ら書房

ぼくんちのねこ、「こたら」は16
歳。人間でいうとおじいちゃんだ。
最近元気がなくて、病院に連れて
行っても、家で点滴をしても、どんど
ん弱っていってしまう…。最後の時を
むかえた「こたら」と、ぼくたち家族
の命の物語。

7



「影なし山のりん」

宇佐美敬子／作
佐竹美保／絵
学研教育出版

じゅうねん いちど つきまつ よる
十年に一度の月祭りの夜、ばけもの
ぬま 沼からふしぎな 歌声が聞こえた。声に
みちび 導かれ、りんは影なし山を救うため
ち え ゆうき ひかり さが はじ
に知恵と勇気で3つの光を探し始める。

8

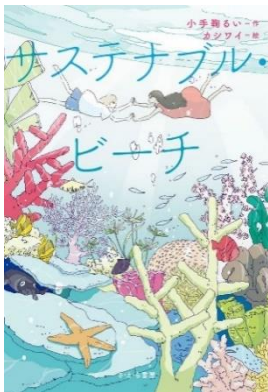


「岬のマヨイガ」

柏葉幸子／著
さいとうゆきこ／絵
講談社

じしん 地震がきっかけで家族になったひより
とユイママとおばあちゃん。そんなな
か、津波で封印がとけて、昔話に出
てくる海へびが岬をうばおうとする。
カップ、お地蔵様、神様、…不思議な
ひとたちの力をかりて、三人は海へび
に立ち向かう。

9



「サステナブル・ビーチ」

小手鞠るい／作
カシワイ／絵
さ・え・ら書房

ななみ 七海は、もやもやした気分小学生
さいご なつやす 最後の夏休みをむかえましたが、ハワ
イですてきな女の子ピカクと出会
います。「持続的（サステナブル）な海
を取りもどすためのアクションを起こ
す」ことをピカクと約束した七海。彼
がお起こしたアクションとは？

10



「江戸の空見師 嵐太郎」
佐和みずえ／作
しまぎきジョゼ／絵
フレーベル館

天気予報が今ほど手軽ではなかった江戸時代、空見(天気予報)が大層得意な嵐太郎という少年がいた。空見の腕を買われ、12歳にして黒船来航に関わるお役目を受けた嵐太郎が、歴史を動かす重大な空見に挑む!

11



「アリババの猫がきいている」
新藤悦子／作
佐竹美保／絵
ポプラ社

アリババが出張の間、友人の民芸品店を営む男性に預けられることになった、猫のシャイフ。人の言葉を理解するシャイフだが、ある夜、民芸品たちの話し声が聞こえてきて…。人やモノの言葉がわかる猫がつないでいく、不思議な物語。

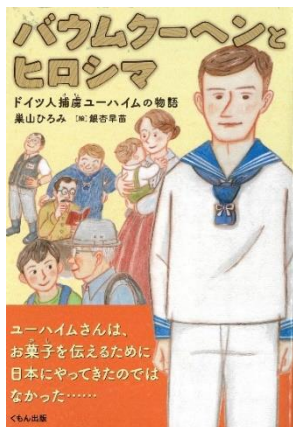
12



「チポロ」
菅野雪虫／著
講談社

森に囲まれた村で暮らすチポロ。ある日、海の向こうから魔物が現れ幼なじみのイレシュがさらわれてしまう。三年が過ぎ、魔女が現われる村の噂を聞いたチポロは、ミソサザイの神と一緒にイレシュを探しに行くのだった。(他2冊)

13

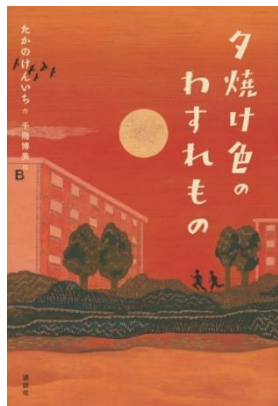


「バウムクーヘンとヒロシマ」

巣山ひろみ／著
銀杏早苗／絵
くもん出版

しょうがく ねんせい そうた
小学6年生の颯太は、バウムクーヘン
を愛する男の子。ある夏、ヒロシマで
行われるバウムクーヘンづくり体験
に参加することに。どこでも作ること
ができるのに、なぜヒロシマなのか？
身近なモノを通していろいろなことを
知ることができる1冊。

14



「夕焼け色のわすれもの」

たかのけんいち／作
千海博美／絵
講談社

しょうた せんせい どうきゅうせい
翔太は先生からのまれ、同級生の
さやま わす とど
佐山へ忘れものを届けに行くことに
なった。佐山の家は団地だ。そこは
異世界へまぎれこんだようなきみよう
なところ。じいちゃんが「もう団地へ
はいかないほうがいいかもしれない。」
とボソツといった。あの団地にはいつ
たひ何があるのだろうか？

15



「酒天童子」

竹下文子／著
平沢下戸／絵
偕成社

とき へいあん きょう みやこ ひとびと
時は平安、京の都では人々をおびや
かす怪異が次々と起こる。
おおぐも どうぞく きどうまる ひとく おに しゅてん
大蜘蛛、盗賊・鬼同丸、人食い鬼・酒天
どうじ
童子、…。
みなもとのよりみつ けるい してんのう
源 頼 光 とその家来の四天王たちが
ものけと たたか れきし
もののけと戦う歴史ファンタジー。



「夏に、ネコをさがして」

西田俊也／作
徳間書店

7月の終わり、6年生の佳斗は、亡くな
ったおばあちゃんが住んでいた家に引
越した。おばあちゃんがかわいがつ
ていたネコをさがして歩くうちに、蘭
というちょっと変わった少年と知り
合う。ネコがきっかけで出会った少年
たちのひと夏の冒険物語。



「ハルと歩いた」

西田俊也／作
徳間書店

陽太は小学校の卒業式の帰り道に
ホームレスから迷子のフレンチブルド
ッグを渡される。飼い主を捜すため、
引越してきて一年の奈良の町を犬と
ともに歩く日々が始まった。



「あぐり☆サイエンスクラブ」

全3巻

堀米薫／作

黒須高嶺／絵

新日本出版社

農業は科学、田んぼは宇宙！野外
活動、合宿ありの言葉に誘われて
入会した「あぐり☆サイエンスクラ
ブ」、活動内容は一年かけてのお米作
りだった。水と土と命のめくるめく
サイエンスワールドへ遊びに来ません
か？



「金色の約束」

松本聰美／作
黒須高嶺／絵
国土社

仲良しだったけどある一言がきっかけで話さなくなってしまった5年生の光輝と智彦。道具を預かった2人は亡くなったおじいちゃんと約束していた砂金採りへ行くことに。探検していくうちに光輝はあることに気づき始めて…。友情と冒険の物語。



「三島由宇、当真確實!」

まはら三桃／著
講談社

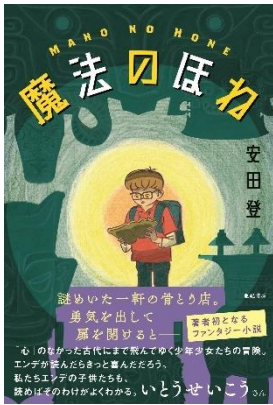
5年生の春休み、由宇はお父さんの反対をおしきって、衆議院議員のおじいちゃんの選挙の手伝いをするに。由宇は精一杯おじいちゃんを応援しますが、思いもよらない事件が起こります。はたしておじいちゃんは当選できるのでしょうか。最後に選挙のしぐみの解説つき。



「おれたちのトウモロコシ」

矢嶋加代子／作
岡本順／絵
文研出版

都会から田舎に引っ越してきた竜也は、友達になった真琴、健と3人で夏休みの旅行を計画する。お金をかせぐためにトウモロコシ作りをするにしたが、そこには厳しい現実が待っていた。少年たちの友情の物語。



「魔法のほね」

安田登／著
亜紀書房

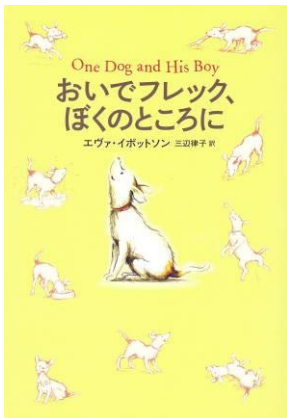
不思議な店で古代文字が刻まれた魔法のほねを手に入れた、たつき。古代文字を解読し、その意味を知ったたつきは、かおる、ふうたと共に古代中国へタイムスリップ！魔法のほねが予知する未来をかえるため、数々の試練に挑む。



「昨日のぼくのパーツ」

吉野万理子／著
講談社

アイドルはトイレに行かない?! 友達との会話から「学校でウンコしない競争」をする事になった大志。便秘に悩んでいた大志は誰もがトイレの悩みを抱えていると感じ、自由研究で調べる事にした。さあ恥ずかしがらず、みんなで話そう。



「おいでフレック、
ぼくのところに」

エヴァ・イボットソン／著
三辺律子／訳
偕成社

念願の犬を飼うことを許してもらった十歳の少年ハル。フレックと名付けてかわいがっていたが、週末だけのレンタルの犬だと知り、深く傷ついてしまう。そこから始まるハルとフレックの居場所を探す冒険物語。

25



「希望の図書館」

リサ・クライン・ランサム／作
松浦直美／訳
ポプラ社

ラングストンは、父とふたりで田舎のアラバマから大都市シカゴへ引っ越してきたが、新しい生活になじめず苦しい日々を送っていた。そんな時、彼はぐうぜんに誰でも自由に入れる図書館を見つける。そこは、彼の希望の場所となった。

26



「その魔球に、まだ名はない」

エレン・クレイジス／著
橋本恵／訳
あすなろ書房

ケイティは、野球が大好きな女の子。ピッチャーでだれにも打てない魔球が投げられる。

ある日、リトルリーグのテストを受けることになった。デイブ・コーチは「すごいぞ！本当に」とほめてくれた。テストには合格したが…。

27



「ぼくたち負け組クラブ」

アンドリュー・クレメンツ／著
田中奈津子／訳
講談社

本が大好きなアレックは、放課後プログラムの中で「負け組クラブ」という名の読書クラブを設立する。初めは、ニーナと二人でただ本を読むだけだった



「ぼくと石の兵士」

リサ・トンプソン／著
楳田理絵／訳
PHP 研究所

発言することや、友達と関わることが苦手なオーエン。そんな彼のひそやかな楽しみは、公園の石の兵士に話しかけること。しかし、石の兵士は取り壊されることになったという。葛藤の末、オーエンがとった行動とは…!!



「シロクマが家にやってきた！」

マリア・ファラー／作
ダニエル・リエリー／絵
杉本詠美／訳
あかね書房

アーサーには障がいのある弟がいる。いつも弟が優先、我慢できなくなったアーサーは家を飛び出してしまふ。そして出会ったのは一頭のシロクマだった。シロクマとのふれあいで、兄として成長していくアーサーから目が離せない一冊です。(他3冊)



プーさんの戦争

リンジー・マティック、
ジョシュ・グリーンハット 文
ソフィー・ブラッコール 絵
山口文生 訳

「プーさんの戦争 世界一有名なクマのお話」

リンジー・マティック／文
ジョシュ・グリーンハット／文
ソフィー・ブラッコール／絵
評論社

「クマのプーさん」を知っていますか？実はプーさんにはモデルになった子グマがいるんです。もちろん、友達のクリストファー・ロビンにも。これは第一次世界大戦中、プーさんがクリストファー・ロビンに出会うまでの物語。

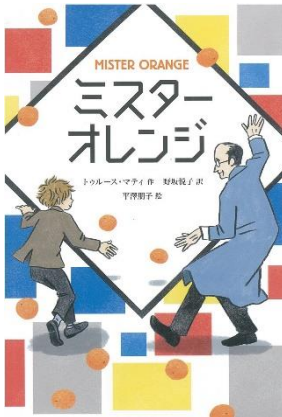
31



「おじいちゃんとの最後の旅」
 ウルフ・スタルク／作
 キティ・クローザー／絵
 菱木晃子／訳
 徳間書店

ウルフの入院中のおじいちゃんはずごく口が悪い。でも、ウルフはおじいちゃんが大好きです。おじいちゃんのためウルフは病院を抜け出す計画を立てます。目的地はおばあちゃんのおもて思い出のつまった家。最後の短い旅が始まります。

32



「ミスターオレンジ」
 トウルース・マティ／作
 野坂悦子／訳
 平澤朋子／絵
 朔北社

第二次世界大戦中のニューヨーク。八百屋の三男ライナスが箱いっぱいのおレンジを届けた相手はひとりの画家だった。ライナスと画家は親しくなり、画家を「ミスターオレンジ」と慕うようになる。

33



「テオの「ありがとう」ノート」
 クロディーヌル・グイック＝プリエ／著
 坂田雪子／訳
 P H P 研究所

車いすで生活するテオ。ひとに助けられ、これまで多くの「ありがとう」を言ってきた。でも、もうありがとうは言わない。そう決心して、日常のことは自分でするよう努力を始める。一歩一歩前に進むテオの、成長の物語。

34



「わたしはひろがる」
 岸武雄／作
 長谷川知子／絵
 子どもの未来社
 おとんと がっこう 弟 や学校、ニュース、遠い国などの
 いろいろなことを知る「わたし」。
 そして、し 知ったことを自分の中で考
 え変化し、成長していく。
 この世界で生きていくことをあらため
 て考えさせられる絵本です。

35



「ぼくがゆびをぱちんとならして、
 きみがおとなになるまえの詩集」
 斉藤倫／著
 高野文子／画
 福音館書店
 し 詩はむずかしい？詩はわからない？詩
 はでたらめ？おとなの「ぼく」と
 小学生の「きみ」がいっしょに詩をよ
 みながら、ことばの持つ不思議さや楽
 しさについて考えていく物語。

36



「自由への道」
 奴隷解放に命をかけた黒人女性
 ハリエット・タブマンの物語」
 池田まき子／文
 丹地陽子／絵
 学研プラス
 19世紀のアメリカでは南部を中心に多
 くの奴隷たちが働かされていた。奴隷で
 あった黒人女性ハリエットは奴隷主のも
 とを脱出し、やがて秘密組織「地下鉄道」
 の一員として、黒人奴隷たちを北部に逃が
 すための手助けをしていく。

37



「あかい^{じてんしゃ}自転車

「ビッグ・レッドのながい^{たび}旅」
 ジュード・イザベラ／文
 シモーネ・シン／絵
 志多田静／訳
 六耀社

レオはお金^{かね}をためて、あかい^{じてんしゃ}自転車を
 か
 買いました。「ビッグレッド」と名前^{なまえ}
 をつけて、とても大切にしていたレオ
 ですが、成長^{たいせつ}したレオにビッグレ
 ッド^{せいちょう}ですが、成長したレオにビッグレ
 ッド^{ちい}は小さくなってしまいます。

38



「すごい! ミミックメーカー ^い生き物
 をヒントに^{せかい}世界を変えた^か発明家^{はつめいか}たち」
 竹内薫／監修
 ノードストロム／文
 ポストン／絵
 今井悟朗／訳
 西村書店

ミミックメーカーとは生き物^いの体^{からだ}の仕組^{しく}
 みや構造^{こうぞう}を解き明^とかし真似^{まね}をして便利^{べんり}な
 発明品^{はつめいひん}を作る発明家^{はつめいか}のこと。この本^{ほん}では1
 0人^{にん}のミミックメーカー^{はつめいひん}たちの人々^{ひとびと}を助け
 世界^{せかい}を変えた^か発明品^{はつめいひん}が紹介^{しょうかい}されています。

39



「フクシマ 2011年3月11日
 から^か変わった^かくらし」

内堀タケシ／写真・文
 国土社

2011年3月11日に東日本大震災^{ねん}が^が
 発生^{はっせい}しました。福島第一^{ふくしまだいいちげん}原子力^{しりょく}発電所^{はつでんじょ}
 からは大量^{たいりょう}の放射^{ほうしやせいぶつ}性物質^{せいぶつ}が放^{ほう}出^{しゅつ}され
 ました。多く^{おほ}の人が^{ひと}ふるさとを離^{はな}れ、
 今^{いま}もどれないでいます。この本^{ほん}はた
 くさんの写真^{しゃしん}で震災^{しんさいご}後の福島^{ふくしま}を伝^{つた}えて
 います。

40



「なんてくさいんだ！」
すく ものがたり
 ロンドンを救ったジョセフの物語」
 コリーン・ペフ／文
 ナンシー・カーペンター／絵
 金原瑞人／訳
 あかつき教育図書

19世紀ロンドン・テムズ川では人々の排泄物が原因で悪臭や病気といった問題が起きていました。この絵本は土木技師ジョセフがその解決策として新しい下水道システムを作り上げた年月を描いた歴史絵本です。

41



「山の上に貝があるのはなぜ？」
 はじめての地質学」

アレックス・ノゲル／文
 ミレン・アシアイン＝ロラ／絵
 宇野和美／訳
 岩崎書店

山の上に海に住んでいるはずのカキの貝があるのはなぜ？そのなぞは山の<地層>を見れば解けるんです。地質学入門にぴったりの絵本。

42



「毎日新聞社 記事づくりの現場」
 深光 富士男／文
 佼成出版社

取材のプロである新聞記者へのインタビューを中心に、記事や現場の写真が分かりやすくなっている。新聞記事はどのようにでき、どのような人たちが関わっているのかなど疑問に答えてくれる本。



「消えたレスラーパンダを追え！」
警視庁「生きもの係」事件簿
たけたにちほみ／文
西脇せいご／絵
学研プラス

こちらは警視庁「生きもの係」。こ
であつかうのは、めずらしい生きもの
などがぬすまれたり、勝手に売り買い
されたり、という事件です。次々とも
ちこまれる事件の記録はまるでミステ
リー。読めばきっと、生きものについ
て考えてみたくなりますよ。



「ヒロシマをのこす」
へいわきねんしりょうかんをつくった人・
ながおかしやうご
長岡省吾
佐藤真澄／著
汐文社

げんぱくによって廃墟となった広島で、
ねっせんとかわらぬ瓦や石ころなどの「ガラ
クタ」を拾い上げ、集めてまわるひと
りの男がいた。のちに広島平和記念
しりょうかんしょだいかんちやうながおかしやうご
資料館の初代館長となる長岡省吾の
じてんてきものがたり
自伝的物語。



「故郷の味は海をこえて」
安田菜津紀／著・写真
ポプラ社
にほんくがいくじんなか
日本で暮らす外国人の中には、どうし
ても自分の国で暮らすことができなく
なって、生きるために日本に来た人た
ちがいます。そんな「難民」とよばれ
る人たちが、日本に来るまでのこと、
うまれた国のことなどを、故郷の料理
をつくりながら話してくれました。



「髪がつなぐ物語」
別司芳子／著
文研出版

ヘアドネーションは、髪をなくした子どもたちの役に立ちたいという思いから広がった、だれにでもできるボランティア。自分の髪を寄付する子どもたち、ウィッグを受け取る子どもたちの様々な思いを描く。



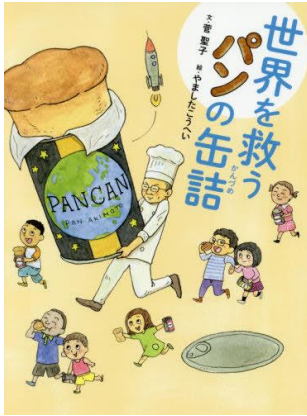
「クジラのおなかから
プラスチック」
保坂直紀／著
旬報社

海岸のプラスチックごみ。環境問題はどこかの国ではなく、あなたの目の前で始まっています。気づかないうちにプラスチックを食べているかも知れません。正しい情報と知識を身につけて自分たちの未来を変えましょう！



「オリヒメ
人と人をつなぐ分身ロボット」
吉藤オリイ／著
加藤悦子／文
子どもの未来社

OriHimeは、病気やケガなどで外出できない人が、パイロットとなり、操作する分身ロボットです。孤独をなくしたいという思いから生まれたOriHimeは、どのように生まれ、どのように活やくしているのでしょうか。



「世界を救うパンの缶詰」

菅聖子／文

やましたこうへい／絵

ほるぷ出版

「乾パンのように長期保存できる、やわらかくておいしいパンはありませんか？」パン屋の秋元さんはそんな声をうけて、世界初のパンの缶詰を作った。飢餓で苦しむ国にパンの缶詰を届けたりと、町のパン屋さんが世界へ羽ばたく。



「チェンジ!」

越智貴雄／著

くもん出版

障がいをもつパラアスリートを追いつつ続けるカメラマンが、これまでに会った選手や彼らを支える人との思いを書いた本。障がいをもつ人への偏見や、障がいに負けず自分らしくあろうとする人たちのことも書かれています。

令和6年度

みなさんにおすすめしたい本

高学年

令和6年4月発行

編集 板橋区教育会学校図書館研究部

板橋区立図書館児童担当者会

発行 板橋区立中央図書館